

H I C 通信

Vol. 97

July 2017
Hiroshima
International
Center



オリエンテーション



お好み焼き体験



三日間のふり返し



目次

P2 特集

伝えるHIROSHIMAプロジェクトとは？

P5 交流部

留学生活躍支援センター
研修部(ひろしま国際プラザ)

P8 コラム

Hello Hiroshima

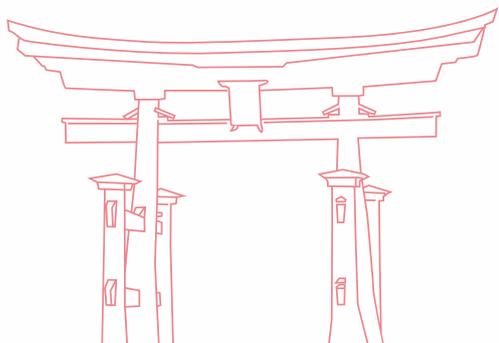
P 9 国際協力活動を支援します

P10 イベント・講座案内

Upcoming Event News

P11 JICALレポート

こちら JICA デスク



伝えるHIROSHIMAプロジェクトとは?

広島県外の大学や日本語学校等で学ぶ外国人留学生在が、広島での平和や復興の歴史、文化、社会について学び、体験したことや感じたことを「SNSを通じて世界に発信していこう!」というイベントです。2017年3月22日(水)~24日(金)の3日間で開催されました。

日本全国の大学・日本語学校から、115名の留学生在が申し込んでくれました! 応募理由などをもとに選考し、10ヵ国(中国、台湾、ベトナム、モンゴル、ウクライナ、スペイン、タイ、ルーマニア、アメリカ、韓国)、13県(東京、富山、岐阜、名古屋、京都、愛媛、長崎など)から、計23名の留学生在が参加してくれました! また、広島県内の学生10名も、ボランティアスタッフとして参加し、会場準備や交流イベントの運営などをお手伝いしてくれました!

広島での3日間、一体どんな体験をし、どんなことを学んだのでしょうか? 一緒にふり返ってみましょう!

DAY: 1 3月22日(水)

平和公園

ひろしま国際センターで簡単なオリエンテーションや自己紹介を終え、広島平和記念公園へ向かいました。広島平和記念公園では、ボランティアガイドの方に解説してもらいながら、平和公園内の慰霊碑や、爆心地などを回りました。



留学生からのコメント



平和記念公園で、時代を超える平和への祈り。被害者からのお話、平和の尊さをかみしめた。戦争の残酷さから、貴重な平和を守るべきだ。



夕食交流会

初日の感想や自分の大学について、また、広島の観光名所や名産物の話など、和気あいあいと交流し、みんなの表情に笑顔があふれていました! 交流会の後、広島の学生ボランティアさんが広島城や本通を案内してくれたようです。



DAY: 2 3月23日(木)



平和記念資料館・被爆体験講話

平和記念資料館を見学した後、被爆者の方から当日の状況や平和への想いなどをお話いただきました。1945年当時に戻ったように、みなさん真剣にお話に耳を傾けていました。

留学生からのコメント



3日間で碑巡りをしたり、平和記念資料館を見学したりして、その日の悲惨さを痛感しました。特に、被爆者に被爆の実相と復興についての講話を聴かせていただいたときは、本当に本当に震撼させられました。

DAY: **2** 3月23日(木)



平和について考えよう

広島で平和活動や国際協力活動をされているANT-Hiroshimaの方からのお話を聞き、自分にとって平和ってなんだろう?と考えました。



ご存知ですか?

ANT-Hiroshima

ANT-Hiroshimaは、ヒロシマの経験と思いを生かした「世界の平和づくり」を目標に「考動」「協働」するNGOです。1人1人の力はANT(アリ)のように小さくとも、世界各国の人々やNGOなどと信頼の絆を結び、協働することで、大きな平和を実現できると信じて、広島をベースに日々活動しています。

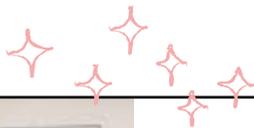
講師のコメント



渡部 朋子(わたなべ・ともこ)

全国から集まった留学生の皆さんは、広島をより深く学び理解しようとする意欲にあふれていました。広島で学んだことを、周囲の人へ伝え、母国が平和であり続けるために役立ててください。

DAY: **3** 3月24日(金)



けん玉体験

世界中でけん玉の普及活動をされている砂原先生にお越しいたごき、みんなでいろんな技に挑戦しました!『とめけん』、『ひこうき』、『けん玉相撲』、『けん玉タワー』など、みんなで楽しみました!

ご存知ですか?

けん玉



現在私たちが慣れ親しんでいる形のけん玉は、広島が発祥の地とされています。日本をはじめ、世界中の多くの国で人気となっており、廿日市市では毎年けん玉ワールドカップも開催されています。

お好み焼き体験

広島と言えば、お好み焼き! サンフーズ株式会社さんでお好み焼きの手作り体験をしました! 広島お好み焼きの歴史に触れながら、自分で作ったお好み焼きをおいしくいただきました。

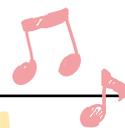


留学生からのコメント



広島風のお好み焼きを作って食べることもとても面白いと思います。そして、戦争や原爆で夫を亡くし、自分の家を改装して店を始めた女性は「〇〇ちゃん」という屋号が多いということを知ったとき、戦争の悲惨さを痛感しました。

宮島
オプション
ツアー
3月25日(土)



宮島オプションツアー

一緒に過ごした3日間はあっという間に終わってしまいました。最後に、オプションツアーとして希望者のみなで宮島へ行きました。弥山の頂上まで登るグループや、大聖院へ行くグループにわかれ、自然あふれる宮島を楽しみました♪

参加者の声「伝えるHIROSHIMAプロジェクトから得たもの」

台湾の留学生から

この度は百人以上の募集者の中から選ばれ、「留学生による伝えるHIROSHIMAプロジェクト」に参加させていただき、大変光栄です。私は広島とは、昔から非常に縁があったと思います。というのも、台湾にいた時、『はだしのゲン』という広島の原爆をテーマにした漫画作品を拝見し、それに関する記事を書いたことがあるのです。また、作者の妻である中沢ミサヨさんが台湾でやっていた講演会にも参加させていただいたことがあります。それに、今は長崎大学に一年間の交換留学をしているので、長崎の原爆資料館や平和公園を何回も見学させていただきました。なので、この交換留学の一年間の中で、日本の二つの被爆地をどちらも見学させていただき、72年前、巨大なキノコ雲の下で、この土地には一体何が起こっていたのかを自分の目で見て、自分の耳で聞いて、自分の心で感じる事ができたのは、大変有意義だと思います。私と同じ世代、つまり平和の時代に生まれ育った若者たちにとって、「戦争」や「原子爆弾」などの言葉はもう古いものになっており、歴史の教科書でしか出て来ないもののようなのです。しかし、今回のプロジェクトでいろんなイベントを通して、戦争というものの残酷さとリアリティーに改めて驚かされ、平和の大切さを知らされました。いつの時代でも、戦争の犠牲者になったのは我々と同じような、普通の人たちだけです。今回のプロジェクトに参加して、「戦争」や「原子爆弾」への認識と感想を新たにする一方、今後世の中でこのような悲劇が永遠に起こらないように心から願っています。

※全文は以下のURLを参照ください

⇒<https://goo.gl/f5KT1>

⇒Facebookからもご覧いただけます!



タイの留学生から

広島を初めて訪ねた私は、このプロジェクトで様々なことを学びました。広島に行く前には、知らないことが山ほどありました。もちろん、原爆のこととか、平和推進者であることとか知っていましたが、そんなに詳しくはなかった。原爆犠牲者の話を聞いたり、原爆ドームや広島平和記念資料館に見に行ったりして、私は涙を流すほど感動しました。ですけれども、広島はそんなにつらい過去を持つのに、現在の広島は原爆の話よりもっと多くのことを提供しています。過去を超えた広島は美しく見えました。悪い事を許して回りの人と仲良くすることは人のやさしさの証拠です。広島の人々はこういうやさしさを持っていると感じました。この三日間は短かったですが、色々な国・地域から来られた留学生に出会って、友達になって、様々なことを学んで、面白いワークショップをしました。このプログラムは、私にとって、日本文化を経験できる最高の機会だったので、忘れられない三日間になりました。スタッフの皆さん、参加させてくださったことに心から感謝します。

※全文は以下のURLを参照ください

⇒<https://goo.gl/79ckoY>

⇒Facebookからもご覧いただけます!



今回参加された留学生が全員書いたレポートを広島県留學生活躍支援センターのFacebookからご覧できます! 留学生による伝えるHIROSHIMAプロジェクトで検索! ぜひ見てみてください♪



主催者のコメント

みなさんとても熱心に、前向きに、様々なことを学び、想像以上のことを経験してくれました。3日間だけで終わることなく、この絆がいつまでも続いていってくれることを願っています。

交流部

Report 1 能楽鑑賞を開催しました

5月29日、日本文化理解促進事業として「能楽鑑賞」を開催しました。

この企画は、(公財)ひろしん文化財団主催の「第27回青少年のための能楽鑑賞教室」にご招待いただき、毎年参加しているもので、今年は5カ国 計18名の方々と一緒に、能「土蜘蛛」と狂言「附子」を鑑賞しました。

外国人の皆さんは、〈無〉の空間を表現した舞台に際立つ能装束の絢爛さ、会場に轟く笛・小鼓、太鼓の音色と謡に引き込まれ、言葉は理解できなくても、全身で日本文化の究極の「美」を感じ取り、舞台に陶醉された様子でした。

参加した留学生からは、「とても素晴らしい日本文化を体験することができた。」「演者全員の真剣な演技と迫力ある音楽に感銘を受けた」「舞台も衣装も大変素晴らしく、美しかった」「もっと色んなイベントを開催して欲しい」等のうれしいお言葉をいただきました。

今後もひろしま国際センターでは、外国の皆さんと一緒に楽しめるイベントを随時、開催していきます。



こつづみ おおづつみ うたい

交流部

Report 2 「平成29年度 ひろしま多文化共生連絡協議会」を開催

5月23日(火)に「平成29年度 ひろしま多文化共生連絡協議会」が開催されました。今年、県内市町の多文化共生事業の事例紹介、今意見交換会などが行われました。事例発表では、広島市による「災害時における外国人市民支援体制整備事業」、安芸高田市による「安芸高田市防災訓練～災害時の外国人支援編～」、呉市による「コミュニケーションサポーター育成研修」、福山市による「多文化共生大学における多文化共生サポーターの育成」、東広島市による「学校通訳・支援員派遣事業」、江田島市による「地域日本語スタートアッププログラム」について紹介されました。



交流部

Report 3 平成28年度 市町等の多文化共生に係る取組支援事業の報告

当センターは広島県の委託を受けて、平成25年度より市町等の多文化共生に係る取組支援事業を実施しています。県内市町・市町国際交流協会が実施する多文化共生に関する啓発事業等に対して、講師の紹介や調整、講師経費の負担等の支援を行うことにより、市町等による多文化共生の地域づくりの取組を促進しています。平成28年度は、市町等が実施する市町職員向けの「やさしい日本語」研修や日本語ボランティア養成講座、防災訓練などの活動に対して13市町29回の支援を行い、延べ604名の参加者がいました。平成29年度も引き続き実施しますので、多文化共生の地域づくりの活動に是非ご活用ください。



交流部

Report 4 県内文化施設等優待事業について

この事業は、広島県内の大学等に在籍する外国人留学生に対し、当センターで登録している文化施設の入場料等の減免を受けることのできる優待カードの発行を行うものです。

この優待カードを通じて、外国人留学生に日本や広島県の文化の理解促進をはかり、支援することを目的としています。この主旨にご賛同いただき、減免施設の対象となり、ご協力くださっている施設等が現在は70施設あります。

ぜひ、優待カードを利用する外国人留学生達が、広島での充実した学生生活を送られるよう私達は願っております。



交流部

Report 5 インタナショナルカフェ・スペイン編

ひろしま国際センターでは、広島県に住んでいる外国人及び日本人が交流を深める場として、昨年度からインタナショナルカフェを定期的に行っています。カフェでは、今までに韓国、アフリカ、インド、カナダの紹介を行い、今年度第1回（通算第5回）目として、6月6日（火）にインタナショナルカフェ・スペインを開催しました。

今回スペインを紹介して下さったのは、広島平和文化センターで通訳・相談員（スペイン語担当）をされている、スペイン出身のビルヒニアさんです！スペインの祭り、食文化などの紹介だけでなく、スペインのフラメンコダンスまで教えていただきました。スペインの食べ物を食べながら、参加者のみなさんと楽しく交流できました♪



留学生活躍支援センター

Report 6 ひろしま留学大使の任命式を行いました！

5月20日（土）、21日（日）に今年度のひろしま留学大使の任命式を行いました。広島県内9大学・日本語学校、13か国・地域から22人の楽しいメンバーがそろいました！

広島や日本のことを友だちや海外の人に伝えたい！と思ってくれる留学生がこんなにたくさんいることをとても嬉しく思います。

これから、新しい留学大使メンバーと、広島の留学生活について、役立つ情報を発信していきます♪お楽しみに！

ひろしま留学大使

Facebook：
<https://www.facebook.com/hsaa2014>



ウェブサイト：
<https://hsaa-studyabroad.jimdo.com/>



留学生活躍支援センター

Report 7 進学説明会に参加しました！

5月31日（水）に福山で、6月1日（木）に岡山中、日本語学校生向けの進学説明会に参加しました。広島の留学環境や、大学などの紹介をし、広島への進学をPRしてきました。ベトナム、ネパール、中国などからの約720名（福山440名、岡山283名）の日本語学校生が参加し、広島の大学について熱心に質問し、話を聞いてくれました。今年受験されるみなさん、がんばってください！広島で再会できることを楽しみにしています。



Report 8 外国人留学生のインターンシップを開催します

今年度も外国人留学生を対象としたインターンシップを開催いたします。

県内の大学等に在籍する外国人留学生に、就業体験の場を提供し、実践的なビジネス日本語能力の向上や日本企業の理解促進を図ることを目的としています。

インターンシップには次の2コース設けており、現在受入れいただける企業様を募集しております。ご興味のある企業の皆さま、お気軽にお問い合わせください。

①企業見学ツアーコース

受入日数：1日（1日で2～3社の企業を訪問）

内 容：県内企業の理解促進を目的とし、企業の職場・工場の見学、社員の方々との意見交換を行う、企業見学中心のコース

対 象：広島県内企業に就職意思または関心があり、日本語による説明が理解できる留学生



見学した企業が色んな事業をされて、社会に役に立つ仕事もしている。社員様の働く姿を見て勉強になりました。今後、先輩留学生を訪問して、日本での就職の経験や仕事の楽しかったことを知りたいです。



②就業体験コース

受入日数：5日～2週間程度

内 容：営業、製造または管理部門等で留学生が日本企業の仕組みや商習慣、ビジネスマナーを身に付ける実践的な研修を行う就業体験中心のコース

対 象：広島県内企業に就職意思または関心があり、日本語能力試験N1程度の能力を有する留学生



自分の日本語能力とコミュニケーション能力を上げていく必要があると思った。営業同行をさせてもらったが、そこでビジネスマナーの大切さを実感した。例えば、朝の挨拶でも「おはようございます」以外に何度も挨拶するので、何を言えば良いのか考えていると、言葉が出てこなかった。



【問合せ先】 広島県留生活躍支援センター 倉本

E-mail: office@int-students-hiroshima.jp 電話：082-541-3781

Report 9 「平成29年度第1回 外国人留学生合同企業説明会」の開催

—開催案内—

外国人留学生のための、広島県内企業による合同企業説明会を、次の要領で開催します。外国人留学生対象の合同企業説明会としては、西日本最大級のイベントであり、企業の採用担当者と直接面談できる絶好の機会です。ぜひ参加しましょう！

【開催日時】 9月1日(金) 13:30～16:30

【開催場所】 広島国際会議場（広島市中区中島町1-5）

【参加企業】 50社（予定）

【参加対象】 大学・大学院を卒業予定の外国人留学生
平成30年度卒業予定の外国人留学生を中心に、
学部1～4年生、院生、既卒者も可

【送迎バス】 岡山・福山方面および山口方面からの無料送迎バスを運行予定

※出展企業名など、詳細はHPをご覧ください。

※出展企業名など、
詳細はHPを
ご覧ください。



Hello Hiroshima

Vol.97 July 2017



An Ale of Two Cities

Daniel Mackey

Hiroshima is really starting to heat up these days as the rainy season approaches, so besides a nice cold beer, I thought this would be the perfect time to go and see a Hiroshima Carp game. In fact, despite having already lived here for just under a year, this coming June 14 will mark the first time that I ever see a Carp game. Hard to believe, right? But being from Canada, I am more or less ignorant about everything baseball-related. That is something that I mean to correct. I don't want to miss out on the chance to see Hiroshima's pride and joy so I plan to go to Matsuda Stadium with work colleagues to observe the Carp in their natural habitat (for science, you know). Following this, I will hopefully be able to actually comprehend the mysterious baseball banter that goes on at my workplace which I normally only pretend to understand.

Strangely enough, my hometown of Montreal used to have its own baseball team once upon a time but most young people have probably never even heard of them these days. They were originally called the Montreal Expos, and their legacy began in 1969 as the first Canadian MLB team. Their main venue was the Montreal Olympic Stadium, and they enjoyed strong popularity

and local support during the 1970's and 80's. But, due to mismanagement and various other financial issues, the team ended up losing its best players and eventually faded into insignificance before it relocated to the U.S. in 2004 to be reborn as the Washington Nationals.

I distinctly remember having gone to see them play when I was a child, but I was more interested in the food and drink stands than the game itself at that time. Shame on me!

Having just recently returned to Montreal for a vacation, I find myself naturally comparing things between our two sister cities. When it comes to sports, Montreal locals are just as passionate about Les Canadiens, the local hockey team, as Hiroshima locals are about Hiroshima Carp. But when it comes to summer and beer, I love the sheer variety of local and craft beers (especially Belgian-style) that are prolific in my hometown, and I believe this is one of the things that I will miss the most here in Hiroshima during the scorching summer months to come.

With that, I hope all of you have a pleasant summer, and take care not to succumb to heat exhaustion!



HICワンペア 日本語学習ボランティア

外国人学習者さん増えてます！
**ボランティアさん
大募集中。**

詳しくはウェブサイトへ
HIC ワンペア



- 活動内容 在住外国人の方の日本語学習を一对一（ワンペア）で、お手伝いします。
- 活動場所 ひろしま国際センター 交流部（広島市中区中町8-18）
- 募集対象 外国人の方の日本語学習を手伝ってみたい方、国際交流に興味のある方、ボランティアに興味のある方。年齢18歳以上、資格・経験は問いません。（申込み時に語学力等ご相談いただけます）

- 申込方法 来館、ホームページ、郵送または FAX でお申し込みください。郵送、FAXの場合、ホームページから登録用紙をダウンロードいただけます。
- 登録後の流れ 登録後は当センターにてご希望条件（※）に合った方とマッチングいたします。
※希望条件は、学習曜日や時間帯、学習頻度、学習レベル等です。

【お問い合わせ】公益財団法人ひろしま国際センター 交流部

tel:082-541-3777

国際協力活動を支援します。

ひろしま国際センター研修部では、民間レベルの自発的な国際協力活動を推進するため、民間の非営利団体が実施する国際協力活動に対して、助成しています。



草の根国際協力基金とは

この助成金は、県民や企業等の皆様からの寄付や「ピース・アーチ・ひろしま」プロジェクトの収益からの寄付を原資として、地道に活動している民間の非営利団体が開発途上にある国や地域に対して行う国際協力活動に必要な経費の一部を助成し、民間の自発的な国際協力活動を推進しようとするものです。

対象となる事業と団体

- (1) 国際協力の担い手を育成する事業
民間レベルで国際協力活動を行う団体に活動する人材を育成する目的で、広島県内で実施される事業
例：講演会、シンポジウム、体験活動、調査、フォーラム、セミナー等
- (2) 開発途上の国や地域での国際協力事業
福祉・保健・医療、環境保全、教育文化、産業技術等の分野で、開発途上の国や地域で行われる事業
- (3) 公益を目的とした団体で、①国際協力を目的とし、②広島県内に活動拠点があり、③構成員の過半数が広島県内に住んでいること。

助成金額と助成実績

【助成金額】

対象事業	助成額	助成限度額
国際協力の担い手を育成する事業	対象経費の50%以内	100万円
開発途上の国や地域での国際協力事業	対象経費の50%以内	200万円



▲2016年度採択団体「楠那ネパール友好協会」小学校落成式の様子

【助成実績】

年度	担い手育成事業		国際協力事業		合計	
2014	1件	23,000円	4件	2,768,719円	5件	2,791,719円
2015	1件	255,825円	3件	2,449,059円	4件	2,704,884円
2016	2件	246,643円	5件	3,947,189円	7件	4,193,832円

【2017年度採択団体】

選考委員会の選考を経て、6団体に対し、合計5,819,400円を交付します。

団体名		内容
担い手	広島ベトナム平和友好協会	ベトナムについての理解を深めるとともに、同協会が行っている支援プログラムへの理解を深めるため、ベトナムに関する講座等の開催事業
	特定非営利活動法人 日本パラオ協会	パラオの生活習慣病予防のため、小学校の給食改善のための必要な機器を整備する事業
国際協力	特定非営利活動法人 ESA	ミャンマーの学校で学ぶ生徒達の水不足解消に向けた水供給システムの建設事業
	特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン	東ティモールの産業振興のため、コーヒーの品質管理体制強化に係る生産者の支援事業
	特定非営利活動法人 IMAGINUS	インドの路上で生活し、保護された女子児童が元の路上生活に戻ることを防ぐため、母親を対象にした職業技術訓練プログラムの実施事業
	特定非営利活動法人 NGOひろしま	カンボジアにおいて教員養成校等で口腔保健指導を行うとともに、これらともリンクさせたスポーツや絵画などの情操教育の実施事業

寄付のお願い

当センターでは、引き続き民間の非営利団体の国際協力活動を支援してまいりますので、寄付へのご協力をお願いします。

問合せ先：ひろしま国際センター研修部 管理課

TEL : 082-421-5900 Mail : hicc@hiroshima-ic.or.jp



▲2016年度採択団体「モースト」ワークショップの様子

広島県 外国人 相談 窓口

Hiroshima Prefecture's Counseling Services for Foreign Residents



HICは広島県内で暮らす外国人の皆さまが、安心して暮らしていただけるよう「外国人相談窓口」を開設しています。この窓口では、在留資格や社会保険・労働問題などの専門的な相談や暮らしに関する相談を、フィリピン語・英語・韓国語・日本語の4か国語で提供しています。(毎週木曜日 AM10時~12時, PM1時~4時)

どこで 相談することが できますか?

公益財団法人 ひろしま国際センター
広島市中区中町8-18
広島クリスタルプラザ6F

Where do we offer consultations?

Hiroshima International Center(HIC)
Nakamachi 8-18, Naka-ku, Hiroshima City
Hiroshima Crystal Plaza 6th Fl.

電話番号は?

フリーダイヤル 0120-783-806
(電話の お金が かかりません)
携帯電話・スマートフォン 082-541-3888

What number do I call?

Toll Free Number:0120-783-806
Smart/Cell Number:082-541-3888



Upcoming



Event News



夏休み上映会「世界の果ての通学路」

毎日往復30kmの通学路をたった4時間で駆け抜ける兄妹など、夢をかなえるために世界各地で困難を乗り越えて通学する子どもたちの様子を追ったドキュメンタリーです。ユニセフパネル展同時開催。子どもが楽しめるコーナーもあります。

- 日 7月22日(土)
- 時 ①10:30 ②14:00(2回上映)
- 場 広島市映像文化ライブラリー
- 定 なし
- 費 65歳以上180円(要公的証明書), 大人380円
高校生180円, 小中学生 無料
- 問 広島県ユニセフ協会
担当者:高田 和美
TEL:082-231-8855
unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA) 文化講演会 演題: 「トランプ時代の光と陰」

本年度のHIGA文化講演会は、広島テレビ放送(株)代表取締役会長 三山秀昭氏を講師にお招きします。三山氏の貴重な経験とポスト・オバマとなる「トランプ時代」を鋭く捉えたお話を直接伺うまとない機会です。

- 多数のご参加をお待ちしております。
- 日 9月16日(土)
- 時 13:30~15:30
- 場 JMSアステールプラザ 4階大会議室
- 定 100名
- 費 無料(要予約)
- 問 ひろしま通訳・ガイド協会(HIGA)
担当者:今田, 長尾, 渡辺
TEL:082-245-8346
higa@urban.ne.jp

留学生日本語スピーチコンテスト in 広島2017

広島で学ぶ留学生のみなさんによる日本語スピーチコンテストです。事前に予約不要、無料でどなたでも入場できます。みなさまお気軽にご来場ください。

- 日 7月22日(土)
- 時 13:00~15:20
- 場 ひろしま国際センター 交流ホール
- 定 100名
- 費 無料
- 問 広島キワニスクラブ事務局
担当者:穂下(ホシタ)
TEL:082-227-5315
hkiwanis@crocus.ocn.ne.jp

俳句・写経・禅

- どなたでも。初体験歓迎
- 俳句と川柳の3人で1句“渡り俳句”
- 俳句と川柳の写経
- Zen禅
- 日 7月11日(火)
- 時 ①10:30(60分~90分) ②13:30(60分~90分)
- 場 中央新天地集会所(新天地7-9)
- 定 50~60名(要予約)
- 費 外国人1,500円, 日本人3,000円(軽食付き)
- 問 コスモポリタン国際記者クラブ
担当者:高田 和美
TEL:080-3055-5904 Fax:082-222-1513

広島から世界へ！ 僕たちにできることは必ずある！

広島から世界へ！6月下旬より、広島県出身のJICAボランティア1名が
ガーナへ向けて出発します！



■現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(名)

区分	男性	女性	合計
青年	19	22	41
シニア	6	2	8
日系青年	0	1	1
日系シニア	0	0	0

平成29年3月1日時点

JICAボランティア <青年海外協力隊とは!>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳～39歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティアです。
派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、途上国の発展を支援する。そんな現場レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか!?
40歳～69歳の方を対象とした「シニア海外ボランティア」もあります。

帰国隊員レポート ～パプアニューギニア篇～

三田 嵩さん



パプアニューギニア王国

南太平洋に位置する国家。
【概要】面積：462,840平方キロメートル
人口：6,732,000人
首都：ポートモレスビー
公用語：英語、トク・ピシン、ヒリモツ語
宗教：主にキリスト教

現地での活動内容

赤道直下のパプアニューギニア（以下PNG）の首都、ポートモレスビーから飛行機で約1時間の島にある、東ニューブリテン州の漁業水産資源局に配属されていました。活動のターゲットは、漁業者や生徒、一般人など様々で、漁業従事者に氷を販売する活動や、フカヒレの製造方法の指導。学校にて魚の栄養について教える活動や、大衆向けに魚を使った調理実習やレシピの作成など。市役所やNGOと連携し、海岸の清掃活動なども実施、住民たちと環境問題について考える活動も行いました。

パプアニューギニアってこんなところ!

公用語は英語です。PNGに住む民族の数は700とも800とも言われており、それぞれが独自の文化や言語を持っています。民族同士でコミュニケーションをとるためにピジン語という言語が発達し、フォーマルな場では英語、日常会話はピジン語、家族間では現地語といった形で使い分けられています。未開拓の地も数多く、海も山も豊富な自然に覆われているPNGには、人懐っこい子どもたちも沢山います。人々からたくさんの温もりや笑顔を買え、日本に居た慌ただしさを忘れさせてくれる、パプアニューギニアはそんな国です。

パプアと日本の繋がり

ラバウルという地名を知っていますか?第二次大戦中、PNGのラバウルには日本軍の基地がありました。連合軍と戦うために、ラバウルはPNG内の拠点となっていたのです。この地では、10万人以上の日本兵が亡くなりました。現在でも、戦車や零戦、野戦病院など数多くの戦跡が残されており、地域の住民たちによって管理されています。そういった日本の過去の歴史遺産がPNGに存在していることを知ることで、現在PNGの人々によって管理されていることを目の当たりにすることで、日本とPNGとの深い繋がりを実感することができます。



▲カメラを向けると笑顔になる子どもたち



▲同僚と氷の販売



▲海底に沈む戦車



▲村での調理実習風景

三田 嵩さん プロフィール

- ・広島県 廿日市市出身
- ・県外の大学を卒業後、水産系の食品メーカーに3年勤務。2015年1月より、パプアニューギニアの東ニューブリテン州にて、コミュニティ開発隊員として活動を開始する。

参加のきっかけ

言葉も満足に通じず、文化も全く違う環境に身を置き活動することで、自身をさらに成長させることができると思い、参加を決意しました。今までの経験を活かして途上国の人たちに喜んでもらい、物事を成し遂げることは、自身にとって、さらに大きな喜びと今後の自信につながると思いました。

参加して思うこと

参加前に多くの先輩隊員が言っていたこと。 “自分が与えたものより、与えてもらったものの方がはるかに多かった”。まさにその通りでした。

一人と人との繋がり

PNGの人だけでなく、日本にいる家族や友人に対しても、感謝の気持ちで一杯です。自分がいかに周りの人に支えられてこれまで生きてこられたか、活動することができたのか、実感することができました。私が協力隊活動を通して感じた、人の優しさや家族の大切さ。大切にしていきたいと思っています。

世界の楽器でオーケストラ! リズムはじけ、ココロオドル!

世界の楽器やアフリカンドラムを使って、参加者全員でひとつの音楽を作りあげるイベント!

みんなで、世界にここだけしかない、ひとつの音を作りあげませんか?

日時：9月9日(土) 14:00~16:00 (開場13:45)

場所：賀茂泉 和泉館(東広島市西条上市町2-4 賀茂泉酒造株式会社内)

定員：30名

詳しい情報は「JICA中国」HP内で☆

広島・キューバ展 ~チェ・ゲバラの視線を通して~

チェ・ゲバラの広島訪問を軸に、キューバの平和教育・スポーツ・文化・音楽・日本人移民の歴史などを紹介します。ぜひ、足をお運びください。

日時：2017年9月16日~24日

場所：旧日銀広島支店(広島市中区袋町)

●広島JICAデスク facebookはこちら→



「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

LIFE IN HIP:

Harmond Marte (Philippines)

My transition to Hiroshima can be described as a blend of fear and adventure. I knew that uprooting my life to a country where I have zero language skill would be a big challenge. However, all fears were replaced with excitement after learning that members of the Global Relations Program (GRP) in the Hiroshima International Plaza (HIP) were around to keep me company. HIP boasts an array of amenities that could help ease out all hesitations about Japan. From the free use of a bicycle to the access of the gym, life in HIP does not run out of things to do. But perhaps the most amazing kind of perk that makes HIP a home away from home are its people.

Life in HIP provided a sense of normalcy for someone like me, who enjoys social gathering

and learns through constant interaction. In my experience, cultural exchange among GRP members starts in the cooking room where I often proudly share my Filipino dishes to other members. In turn, I get to taste a little bit of Vietnamese, Chinese, and Korean delicacies in just an hour of cooking. In addition, I always get to share how my day went as there would always be a familiar face to greet you along the corridor. Although people do come and go in HIP, it is good to know that the new members continue to be friendly and outgoing. Recently, GRP members have been active in organizing barbecue eat-outs, movie nights, and billiard events on the weekend. These simple things break our daily routine of just studying and adds a positive impact on the life of a foreign student in Japan.



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。2月末現在、8ヶ国19人の留学生が参加しています。そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊 770円 管理費 2,500円/月
月額 24,060円～26,370円(水道光熱費込み)

HIC交流部からのお知らせ

ひろしま国際センターでは、新しい図書をたくさん入荷しました。ただいま配架中です♪多文化養成と日本語講師からおすすめの本も取り寄せました。その中で、漫画で読みやすい本や、研修会と講演会で講師を務めている方の本もあります！興味のある方、多文化共生や日本語教育の知識を高めたい方、ぜひセンターまでお越しください。



交流部&留学生生活支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



賛助会員を募集しています！

HICでは幅広く市民の皆さんに協会の事業についてご理解、ご支援いただくために賛助会員制度を設けています。賛助会員の皆さまには、協会機関誌など国際交流情報やイベントのご案内をお送りさせていただきます。この制度を通して言葉や習慣の違いを乗り越え、心を通い合わせることでできる豊かなまちづくりに一緒に参加しませんか？

皆さまからご支援いただく賛助会費(※)は国際交流事業、国際理解教育事業、多文化共生事業に使わせていただいております。

- 入会資格 協会の趣旨に賛同していただける個人、法人・団体
- 年会費 個人一口 2,000円(一口以上)
法人・団体一口 10,000円(一口以上)

※当協会に対する賛助会費については税法上の優遇措置があります。

研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

(情報センター・図書室・NGO交流室) ※情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。
月～土 10:30～19:00※
日・祝日および年末年始はお休みです。

